

# インターンシップ（労働基準コース）実施結果レポート

令和5年9月4日～6日、広島労働局では職場体験実習（インターンシップ）労働基準コースを実施しました。当日は、労働基準行政に関心を持つ13名もの大学生に参加していただきました。この中で監督課のカリキュラムの実施状況につきまして、その結果をレポートします。

## ■ 労働基準監督官の職務内容とは？

### ～現役労働基準監督官から～

まず、労働基準監督官の仕事内容等について、監督課担当者から紹介をしました。

昨今「働き方改革」という言葉を耳にする機会が多くなってきていると思います。労働基準監督官は、労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、事業主に対し法に定める基準を遵守させることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを任務とする厚生労働省の専門職員です。

具体的にどのような仕事をしているのか、資料を基に説明しました。

## ■ 自分が労働基準監督官になったら？

### ～具体的事例の検討～

次に、班に分かれワークショップを行いました。

大学生の皆様が、仮想労働基準監督官となって、各テーマごとに、どのような問題があるか、何を求められ、どのような対応が考えられるかの検討を行い、発表しました。

### ★テーマ★

1. 申告・相談対応  
～いわゆる「ブラックバイト」への対応として出来ること～
2. 労働条件監督  
～賃金・労働時間などの労働条件に係る監督について～
3. 安全衛生監督  
～問題箇所の検討 <建設現場編> <工場編>～

1のテーマでは、残業代が払われない、年次有給休暇がもらえない、労災請求できない、急に解雇された、等々大学生でも身近で起こりうる問題について、事例を基に考えてもらいました。

2のテーマでは、仮想の会社データや賃金台帳、出勤簿からどのような問題があるか検討しました。

3のテーマでは、実際の現場の数々の写真を見ていただき、安全上、どこが危険と思うか、対応方法について、等検討しました。

皆さん、自分が実際に監督官になったつもりで、具体的にどう行動するのか、熱心に取り組まれました。検討結果発表では、「労働者側からだけでなく事業主側からの話も聞く」など行政として中立の立場で法の遵守を求めていくといった、行政職員としての視点からの意見もでした。

広島労働局では、来年度以降も、より満足度の高いインターンシップの実施に向けて、努力してまいります。引き続きよろしく願いいたします。



この記事のお問合せ先  
広島労働局労働基準部監督課  
☎ 082-221-9242